

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 27日

事業所名 サンクスラボ・アフタースクール八反田

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1			今は良いが、児童が成長すると狭くなるかもしれない。
	2	職員の配置数は適切である	4	3			運営基準は満たせているが、職員が急な欠席等があるとマンパワー不足に感じることがある。より充実した支援を行うために数名の採用希望がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5	2		事業所が二階建ての為、車椅子の受け入れは難しい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			普段の朝礼、昼礼、夕礼などで子供達の情報共有を行っている。また会議で話し合い振り返りを行い業務を進めている。	今後も継続していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2			意見を参考に業務改善につなげていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				これまででは事業所に掲示していたが、今回よりHPへ公表を行う。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			7	外部の第三者評価は実施していないが、社内のコンプライアンス部署が事業所内評価を実施している。	外部の第三者評価は今後の検討課題としていきます。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			月に1回程度研修が行われている。	今後も研修等に参加し専門性を高めていきたい。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			スタッフ間で子ども様子や特性について話し合い支援計画に繋げている。	今後も継続していきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	5		標準化したアセスメントは使用していないが、病院や専門機関の検査結果を分析し支援に繋げている。	今後も継続していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			話し合いの場を設け立案している。	今後も職員間で話し合い立案していきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		スタッフ間で活動の計画について定期的に話し合いの場を設けている。	新しい活動も積極的に入れたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		平日と休日で活動の内容の細かな設定を行っている。	今後も継続していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		子どもの特性を理解した上で集団や小集団の活動を組み合わせて計画している。	今後も継続していきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7				朝礼や昼礼で子どもの情報共有や伝達事項を話す場を設けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			夕礼でその日の支援の振り返りを話し合う機会を設けている。	今後も継続していきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			気になる点はスタッフ間で話し合いを行っている	今後も継続していきたい。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1			モニタリングを行い定期的に職員間で話し合い計画の見直しを
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	2		個別のニーズや特性に応じて支援を行っている。	今後も継続していきたい。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				主に児童管が参加しているが、子どもの担当スタッフも参加する事がある。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2			学校の迎えの際に学校と事業所間で情報共有の共有を行っている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			7		医療的ケアが必要な児童の受け入れは現在ない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			5	2	今後、新たにご利用になる利用者様に関しては、保護者や連携機関と情報共有を行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1		5	1	その事例に関わったことがない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1		4	2	必要に応じて連携していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			1	6	保護者や子供達の意見を伺い交流する機会を検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			1	6	今後も機会があれば積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				日頃の事業所での様子等は、送迎時や面談で伝えるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			3	4	必要に応じて、実施の検討を行っていく。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		1	
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		1		面談や送迎の際に情報共有・支援を行って参ります。また、保護者様が相談しやすい環境を提供していきたい。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1			6	保護者同士が関わる機会がない為、茶話会や夏祭り等保護者が参加する機会を増やしていきたい。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				トラブルがあった際には、職員間で事実確認、協議を行い迅速に対応していきたい。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		2		インスタグラムや事業所の新聞やLINE等で活動の様子を発信している。今後も継続していきたい。
35		個人情報に十分注意している	7				今後も個人情報に関しては、細心の注意を払っていきたい。またSNSや新聞での写真の取り扱いについて徹底的に管理していきたい。
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				面談や送迎の際にきめ細やかな情報伝達を行っている。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				7	今後、機会があったら実施していきたい。
非常時等の対応		38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2		5	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				定期的に実施している。 今後も継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				虐待の研修が行われている。 今後も継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		2		突発的に身体拘束の必要性が生じることも想定し、虐待防止対応を組織的に構築するとともに、職員全員向けに研修を強化していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		3	1	保護者の情報を基に必要なに応じて、医療機関とも連携し、対応を実施していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		2	1	全職員が記入・確認できるようになっており、今後も実施していく。